

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場会社名 江崎グリコ株式会社
 コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松本節範
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月6日

上場取引所 東大

TEL 06-6477-8404

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	226,504	—	6,772	—	7,555	—	△148	—
20年3月期第3四半期	215,781	3.6	5,040	△31.9	6,455	△25.6	3,293	△33.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△1.17	—
20年3月期第3四半期	25.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	203,279	103,868	50.2	897.61
20年3月期	202,677	122,514	59.5	934.22

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 101,948百万円 20年3月期 120,557百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	4.1	5,900	38.3	6,600	28.6	△2,400	—	△19.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年3月期第3四半期 144,860,138株

20年3月期 144,860,138株

② 期末自己株式数

21年3月期第3四半期 31,282,933株

20年3月期 15,814,278株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年3月期第3四半期 126,402,987株

20年3月期第3四半期 129,092,950株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記業績予想に関連する事項につきましては、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

売上高は、226,504百万円（前年同期比+5.0%）で、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、食品部門及び畜産加工品部門の全ての部門において増収となりました。売上原価率はほぼ横ばいでしたが、増収による増益に加え、運送費及び保管費率の低減等により、営業利益は6,772百万円（前年同期比+34.4%）、経常利益は7,555百万円（前年同期比+17.0%）となりました。しかしながら、投資有価証券評価損を特別損失に計上した結果、四半期純損失は148百万円となりました。

各部門別の売上の状況は8ページに記載しておりますので、ご参照ください。

なお、「前年同期比増減率」につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、以下のとおりであります。

総資産は、203,279百万円（前連結会計年度末に対して602百万円の増加）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加、有価証券の増加等によるものであります。また、純資産は、103,868百万円（前連結会計年度末に対して18,645百万円の減少）となりました。主な要因は、自己株式の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、金融危機による株価の下落や急激な円高等の影響によって景気が減速局面を迎えており、当社グループを取り巻く環境はますます激しくなるものと予想されます。従いまして、下記のとおり、通期の業績予想を修正いたしました。

売上高は290,000百万円（前期比+4.1%）、営業利益は5,900百万円（前期比+38.3%）、経常利益は6,600百万円（前期比+28.6%）、当期純損失は2,400百万円を見込んでおります。

今後はこれを確保すべく、グループ企業全社を挙げて取り組む所存であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前事業年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計基準等の改正に伴う変更

- ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②①以外の変更

- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これに伴う損益への影響はありません。

・販売促進引当金

当連結会計年度より四半期連結財務諸表の作成が義務付けられ、決算作業の迅速化の必要性が高まりました。当社は前連結会計年度においてはレポートの期末未払額を未払費用として計上しておりましたが、この決算迅速化の要請に対応するため、同未払額の算定についての体制を整備するとともに、算定方法の見直しを行った結果、当第1四半期連結会計期間より販売促進引当金として計上しております。この算定方法の変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,548	9,380
受取手形及び売掛金	33,492	29,546
有価証券	10,278	7,349
商品及び製品	7,897	7,658
仕掛品	705	997
原材料及び貯蔵品	11,341	10,474
その他	4,779	6,346
貸倒引当金	△120	△161
流動資産合計	79,921	71,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,672	21,444
機械装置及び運搬具(純額)	25,666	24,691
土地	14,274	14,396
その他(純額)	6,145	6,064
有形固定資産合計	66,758	66,596
無形固定資産		
ソフトウェア	454	748
その他	1,200	302
無形固定資産合計	1,655	1,050
投資その他の資産		
投資有価証券	41,533	48,794
その他	14,527	15,674
貸倒引当金	△1,117	△1,032
投資その他の資産合計	54,944	63,436
固定資産合計	123,357	131,084
資産合計	203,279	202,677
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,385	29,595
短期借入金	22,197	8,322
未払費用	20,089	18,636
未払法人税等	1,016	595
役員賞与引当金	—	91
販売促進引当金	1,053	—
その他	4,844	5,442
流動負債合計	82,586	62,684

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	5	6
退職給付引当金	12,395	13,287
役員退職慰労引当金	362	470
その他	4,061	3,714
固定負債合計	16,825	17,478
負債合計	99,411	80,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,426	7,421
利益剰余金	113,854	115,932
自己株式	△26,619	△10,493
株主資本合計	102,435	120,633
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	513	684
繰延ヘッジ損益	△670	△803
為替換算調整勘定	△330	43
評価・換算差額等合計	△486	△76
少数株主持分	1,919	1,957
純資産合計	103,868	122,514
負債純資産合計	203,279	202,677

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	226,504
売上原価	133,379
売上総利益	93,125
販売費及び一般管理費	
運送費及び保管費	20,242
販売促進費	24,355
広告宣伝費	10,818
貸倒引当金繰入額	61
退職給付引当金繰入額	591
販売促進引当金繰入額	1,053
その他	29,230
販売費及び一般管理費合計	86,353
営業利益	6,772
営業外収益	
受取利息	334
受取配当金	653
その他	1,042
営業外収益合計	2,030
営業外費用	
支払利息	248
為替差損	269
その他	728
営業外費用合計	1,247
経常利益	7,555
特別利益	
固定資産売却益	257
投資有価証券売却益	162
その他	2
特別利益合計	422
特別損失	
投資有価証券評価損	4,342
その他	376
特別損失合計	4,718
税金等調整前四半期純利益	3,259
法人税、住民税及び事業税	1,876
法人税等調整額	1,149
法人税等合計	3,026
少数株主利益	381
四半期純損失(△)	△148

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

当連結グループは食料品の製造、販売のみの事業であり、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める本邦の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成20年5月19日開催の取締役会において、信託方式による市場買付の方法によって自己株式の取得を決議し、平成20年5月20日から平成20年6月26日までの取得期間において、1,195,000株、取得価額総額1,355百万円の自己株式を取得しました。また、平成20年12月15日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議し、平成20年12月17日において、14,000,000株、取得価額総額14,490百万円の自己株式を取得しました。その結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は26,619百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

・(要約)四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	215,781
II 売上原価	127,297
売上総利益	88,484
III 販売費及び一般管理費	83,444
営業利益	5,040
IV 営業外収益	2,375
受取利息及び配当金	951
その他	1,424
V 営業外費用	960
支払利息	140
その他	820
経常利益	6,455
VI 特別利益	720
VII 特別損失	504
税金等調整前四半期純利益	6,670
税金費用	3,096
少数株主利益	280
四半期純利益	3,293

6. その他の情報

・販売の状況

(単位:百万円、%)

	前第3四半期連結 累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期連結 累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		増 減		(参考) 前連結会計年度 (平成20年3月期)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
菓子	63,187	29.3	66,891	29.5	3,703	105.9	86,740	31.1
冷菓	47,032	21.8	49,822	22.0	2,790	105.9	55,469	19.9
牛乳・乳製品等	65,425	30.3	66,002	29.1	577	100.9	83,499	30.0
食品	16,138	7.5	18,264	8.1	2,125	113.2	21,550	7.7
畜産加工品等	23,997	11.1	25,523	11.3	1,526	106.4	31,425	11.3
合計	215,781	100.0	226,504	100.0	10,722	105.0	278,686	100.0

各部門別の状況は下記の通りです。

＜菓子部門＞

国内では、新製品“チーザ”が売上を伸ばしており、「ビスコグループ」及び“クラッツ”等も堅調に推移いたしました。また、海外では、タイ、上海の海外子会社が引き続き好調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は66,891百万円となり、前年同期(63,187百万円)に比べ5.9%の増収となりました。

＜冷菓部門＞

新製品“パリッテ”、主力製品“パピコ”、“ジャイアントコーン”等が順調に売上を伸ばし、500円マルチパック群も堅調でした。一方、“和ごころ”、“アイスの実”等は厳しい状況となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は49,822百万円となり、前年同期(47,032百万円)に比べ5.9%の増収となりました。

＜牛乳・乳製品部門＞

新製品“ドロリッチ”が引き続き好評で、“マイルドカフェオーレ”等の乳飲料も順調でしたが、清涼飲料やヨーグルト及びプリン等は前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は66,002百万円となり、前年同期(65,425百万円)に比べ0.9%の増収となりました。

＜食品部門＞

主力の“熟カレー”が好調で大きく売上を伸ばし、スナックスープ等も順調でした。また、カレー職人やLEE等のレトルトカレー関係も堅調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,264百万円となり、前年同期(16,138百万円)に比べ13.2%の増収となりました。

＜畜産加工品部門＞

主力の“パリッと朝食ウィンナー”等のソーセージ関係が順調に推移しました。また、“A-グル”等の食品原料も好調で、継続的に取り組んでいた“米粉”も売上を伸ばしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,523百万円となり、前年同期(23,997百万円)に比べ6.4%の増収となりました。